

水俣病で海 潮流の調査

第七管区本部

水俣市の水俣病総合調査のため、十八日朝海上保安庁から七管本部(四)に海潮流調査の指示があった。

この水俣病総合調査は現在経済企画庁が進めているが、病源といわ

れる新日鐵水俣工場から流失する汚水に関連して七管本部が海潮流の調査を依頼されたもので、同本部ではさつそく川上同本部水路部長を現地に派遣することになった。

調査計画によると、二月下旬ごろから約二十日間にあたり、現地漁船五、六隻を雇い入れ、新日鐵水俣工場海岸から赤路港間の海上を、流速を測って潮の速さ、方向などを調べることになっているが、水俣病発生の原因が工場の汚水によるものであるかどうかこの調査ではつきりするわけ。